青き楓

島高だより
第1号
長崎県立島原高等学校
編集：情報図書部

島高だより　青き楓」創刊に寄せて

校長　柳川　伸一

「万緑の中や吾子の歯生えそむる」　中村草田男
もの皆生命感みなぎる好季節、校舎正面には「楓」を象った校旗が薫風にへんぽんと翻っています。

この度、島高だより「青き楓」を創刊し、本校教育の最新の情報を発信することにいたしました。これはまだ青い楓ともいうべき生徒たちの活動の記録や学校行事、さらには学校の教育方針等を幅広く保護者の皆様や教育機関を含めた地域の皆様にお知らせし、本校教育活動への一層のご理解をいただこうとの趣旨によるものです。今年度は隔月一回、来年度からは毎月発行の予定です。

さて今年度は、剣道部の魁星旗争奪全国大会男子優勝・女子三位という嬉しいニュースとともに始まりました。今年は、「文武両道」の校是の下、昨年度からのキャッチフレーズ「伝統の中に新たな挑戦を」を掲げ、生徒一人ひとりの進路実現を目指して教職員一丸となって教育活動を展開してまいります。そのために、次の大きな五本の柱の重点課題を掲げました。

一　本校教育改革実践の充実と発展
二　「導入期の指導計画」に基づく新入生の本校教育への円滑な適応能力の育成
三　学力充実と部活動活性化による進路実現と人間性の育成
四　開かれた学校づくりの推進
五　教育環境の整備と校内外の美化活動への意識向上

生徒一人ひとりの姿を常に念頭に置き、「特色ある」そして「開かれた」学校づくりに邁進してまいりますので、皆様のご支援のほどをよろしくお願いいたします。

また、この島高だよりをお読みになってのお気づきはご遠慮なくお寄せくださるよう併せてお願いいたします。

剣道部全国優勝

秋田名物なまはげ　と男子優勝メンバー・渡邉顧問

全国高等学校選抜剣道大会　女子第三位
魁星旗争奪　全国高校勝抜剣道大会　男子優勝
魁星旗争奪　全国高校女子剣道大会　女子第三位

剣道部顧問　渡邉孝経

三月二十七・二十八日、愛知県春日井市で行われた全国選抜大会において女子が初の三位入賞を果たし、三月二十九・三十・三十一日に、秋田市で行なわれた魁星旗全国大会で男子が初優勝、女子が選抜大会に続いて第三位に入賞することが出来ました。

女子は、両大会とも前評判はそれほど高くなかったのですが集中力を切らさず、本校の特徴である粘り強さで接戦をものにして来ました。ただし、両大会とも優勝した高千穂高には、力の差を感じさせられました。夏までにはどうにか食い下がろうと思います。

男子は魁星旗出場九回目で、初の優勝にたどり着きました。印象深かったのは、準決勝の桐蔭学園戦で、大会の白眉と讃えられました。昨年の玉竜旗全国大会準決勝で敗れていた相手であると同時に、全国選抜大会で優勝していた相手だけに、生徒も明らかにこれまでと違う気合の入った試合でした。決勝は、鳳凰高でしたが、準決勝の勢いそのまま押し切った感じの戦いでした。

このように結果を残せましたのも、学校、地域、保護者会、ＯＢ会、長崎県御当局の日頃からのご支援の賜と深く感謝いたしております。

しかし、本当の日本一は夏だと思っています。勝つまでの努力は誰でもしますが、勝った後の努力はなかなかしないものです。あくまでも挑戦者の気持ちで、夏のインターハイ、玉竜旗を目指したいと思います。応援よろしくお願いします。

第一学年から

平成十六年度の第一学年（五十九回生）は、四月八日の入学式以降、順調にスタートを切れたと思う。入学当初は、静かであった各クラスが、徐々に賑やかになってきた。

学習面では、諸行事の関係で授業時間が十分に確保できない中、毎日課題の提示がなされ、高校の学習の厳しさを肌で感じているようだ。

合宿中の長縄跳び大会

泣ぐわらしいねが～　女子３位メンバー・渡邉顧問

雲仙合宿の生徒感想

入学直後の一年生最大の行事が、雲仙合宿研修であり、本年度も四月二十～二十三日の日程で実施された。この合宿は、自学の習慣をつけるとともに集団行動や野外活動などを通じて、島高生としての生活の基礎を体得し、学年・クラスの和を作るのが目的である。多くの生徒が中学生から「島高生」として生まれ変わって下山してきた。ただ、その変身もまだわずかであり「島高生」としての完成となる卒業の日、二十一世紀の旗手として巣立つ時まで、道は遠いが時間は短い。学年団一丸となって、五十九回生を「真の島高生」に近づけるべく奮闘の日々が続く。

国見中出身：男子

最初は「行きたくない」「つらそう」「友達できるのかなぁ」と不安ばかりでした。特に「友達」のことが心配でした。「恐くない人でありますように」と思った覚えがあります。だけど、同じ部屋のみんなはやさしくて、おもしろい人ばかりだったから、とても安心しました。集団訓練、長い勉強時間、厳しい規則……たくさん厳しいことがありました。でも、長縄跳びやオリエンテーリングはとても楽しかったし、何より友達が増えたので、その分もっと楽しく過ごせました。僕にとっては、長い四日間ではなく、短い四日間でした。少し帰るのが惜しいくらいです。学んだことはたくさんありました。挨拶、校歌、集団行動、協調性、勉強の習慣も。これらを今後の学校生活にしっかり生かしたいと思います。

島原第三中出身：女子

勉強面では、初日の夜集中できるかとても心配で緊張していた。だが、いざ学習の時間になると、静かに勉強する雰囲気にすぐに慣れ集中することができた。質問は、この機会にたくさんたずねてみた。先生達が時間を割いて答えてくださった時、今まで以上に先生達を信頼できた。これからもわからないことは素直に「わかりません」と言おうと思った。

生活面では、合宿始まりの頃、挨拶の様子やスリッパの並び等が本当にだらしなかった。でも先生達の指導や仲間の正しい姿勢から、もっと自分をよくしていこうと頑張った。最後あたりには、少しは自分の行動が変わったような気がする。様々な行事から、仲間との協力・礼儀の大切さ・班長としての責任感も体験できて、とても充実していた。

第一学年から

島高に入学して一年。島高生活二年目のスタートは、クラスごとに行われる、一泊二日の学級合宿研修である。本校敷地内にあるセミナーハウスで行われる。研修の目的は「ふれあい」「自律」「品位ある人間の形成」であり、食事の準備や掃除、自学自習などを通して、お互いを励ましあい、刺激しあいながら、生活することの楽しさと充実感を体験する。高校生活の中で最も充実したこの二年生という一年間を、有意義に送るために「クラスの和」は欠かせないものである。

入寮式後は、夕食の準備。食器を洗ったり、お茶を準備したり、キャベツを切ったり・・・。授業の中では見せないような表情を見せる生徒もいる。これまでは、あまり話したことのないクラスメイトとも、あれやこれやと協力し合い、何とか時間内に準備することができた。

夕食後は「自学」「青楓HR（Human Relation）」があり、日々の学習方法を見直したり、友達を作ったりする機会となる。一泊という短い時間ではあるが、この合宿研修を通して、二年生としての自覚を身につけるのである。

第二学年から

いよいよ高校生活最後の年を迎えることになりました。近年、大学入試をはじめ法科大学院の設置や国立大学の独立法人化、大学の再編や統合など大学教育も大きな変革を遂げています。今、社会で求められている能力や資質がどのようなものか、高校時代に身につけていなければならないのは何かを考えた悔いのない一年を送って欲しいと思います。その中で自己の目標を定め、それを実現するためにもこの一年間が重要であることは言うまでもありません。

三学年では進路意識の高揚と学力の充実のために、早朝・放課後の補習授業をはじめ休日自学や雲仙学習合宿などを実施していきます。また、五月八日には代々木ゼミナールの井上望先生を招き、「進路実現のために、今何をなすべきか」という演題で講演をしていただきました。今後の進路や自分の夢を実現するために必要なことについて考えるきっかけになったのではないでしょうか。

自分の夢を実現するためには常に自己を「ブラッシュアップ」していくことが重要です。五十七回生全員が学習・部活動において悔いのない一年を送ることを期待しています。

理数科から

理数科では新年度スタートに当たり、四月二十七日（火）に一・二年生の対面式と二年生の文部科学省主催春季研修の報告会を行いました。報告会では、春休みに行われたスプリングサイエンスキャンプ等に参加した六分野十九名のうち、三分野五名の生徒がプレゼンテーションソフトや放映装置を用いて独自の研修レポートを発表し、先端科学について関心を深めました。学校では体験できない高度の実験や全国から集まった理科好きの仲間との交流が目的の研修で内容は以下の通りです。

1. 「種子島宇宙センタースペーススクール」では宇宙センター職員の解説で打ち上げ関連施設を見学したり、普段見学できない司令管制室でのシミュレーション演習など、宇宙開発について体験的に学習。また、モデルロケットの打ち上げも実施。（写真）
2. 「未来のオフィス体験（リコー中央研究所）」では近未来の夢のオフィスを体験し、情報活用の新しいスタイルを実感。
3. 「みんなの夢をかたちに～最新技術で作る未来の都市（鹿島建設技術研究所）」では超高層ビルに使われる最新技術・耐震技術を大規模な実験施設や模型を通して学習。

５月の主な行事予定

２１（金）　３年公務員模試②
２４（月）・２５（火）応援練習
２４（月）～２８（金）高総体前短縮授業
２５（火）　通知表発送（中間考査成績）
３１（月）　代休（６／５高総体の代休）

６月の主な行事予定

１（火）　高総体選手推戴式
４（金）　高総体総合開会式（佐世保）
４（金）～７（月）高総体
８（火）　代休（６／６高総体の代休）
９（水）　高総体報告会
１１（金）　部活動集会
１２（土）　土曜講座②，２年進路講演会，１年校内実力テスト，３年対外模試（～１３）
１４（月）　３年放課後補習開始
１５（火）～１７（木）１年部活動生支援学習会
１９（土）　３年県下一斉模試・２年県下一斉実力
２２（火）　期末考査時間割発表，生徒会立会演説会・選挙
２６（土）　土曜講座③，３年公務員模試③
２８（月）　補習中止（期末考査前）
２９（火）～　１学期末考査

７月の主な行事予定

～２（金）　１学期末考査
３（土）　土曜講座④，１・２年高大連携事業
４（日）　バイク免許取得生実技指導
６（火）　生徒会役員任命式・交代式
１０（土）　１・２年対外実力，３年対外模試（～１１）
１６（金）　球技大会
１７（土）　土曜講座⑤，１年コース説明会・進路講演会，３年公務員模試④
１８（日）　３年小論文模試
２０（火）　終業式
２１（水）　通知表発想（１学期末考査成績）
２１（水）～２２（木）授業設定日
２１（水）～３１（土）保護者面談
２３（金）～３１（土）夏季補習（３年は～８／３）

※７月下旬～８月下旬　地区ＰＴＡ開催（各地区）

歓迎遠足

心配されていた天気も回復し、四月二十八日（水）に新入生歓迎遠足を行いました。しばし学舎を離れ島原運動公園芝生広場に出かけ、気持よい青空の下で歓迎行事やレクレーションを楽しみました。まず、新転任の先生方の大変ユニークな自己紹介を目の当たりにして、全校生徒が「今日は一日楽しもう」という雰囲気に包まれました。また、レクレーションとして行った綱引き大会も予想以上に盛り上がり、生徒と先生方が和気あいあいと優勝を目指して力を入れる姿が多く見られ、新しいクラスの団結が強まり、親睦も深まったようでした。

県高総体日程・会場

今年も六月五日（土）～十一（金）の日程で県下各会場で高総体が開催されます。本校関係の競技日程と会場は次のとおりですが、今年も大活躍してくれそうです。皆さんも熱い声援をお願いします。

6月4日（金）　総合開会式　佐世保市総合グラウンド陸上競技場

ソフトテニス　５（土）～７（月）　佐世保市総合グラウンド陸上競技場
バスケットボール　５（土）～８（火）　佐世保市体育文化館他
弓道　５（土）～７（月）　県立武道館弓道場（佐世保市）
ラグビー　５（土）～11（金）　県営放虎原ラグビー場他（大村市）
レスリング　５（土）・６（日）大村工業高校体育館
剣道　５（土）～７（月）　島原高校体育館
陸上　５（土）～８（火）　県立総合運動公園陸上競技場（諫早市）
テニス　５（土）～７（月）　県立総合運動公園陸上競技場テニスコート他（諫早市）
サッカー　５（土）～11（金）　長崎市営ラグビー・サッカー場他
バレーボール　５（土）～８（火）　長崎商業高校体育館他
体操　５（土）・６（日）　県立総合体育館メインアリーナ（長崎市）
水泳　５（土）・６（日）長崎市民総合プール
駅伝　11月2日（火）　雲仙・小浜マラソンコース